

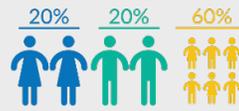
数字で見るアフガニスタン

➔ **290万人**

2020年12月31日時点、
アフガニスタンの紛争により
発生した国内避難民の推定人数

➔ **63万4,800人**

2021年1月1日以降、
紛争により新たに発生した国内
避難民の推定人数¹



➔ **7万2,375人**

2021年9月15日時点、
国内にいる難民・庇護希望者
の推定人数

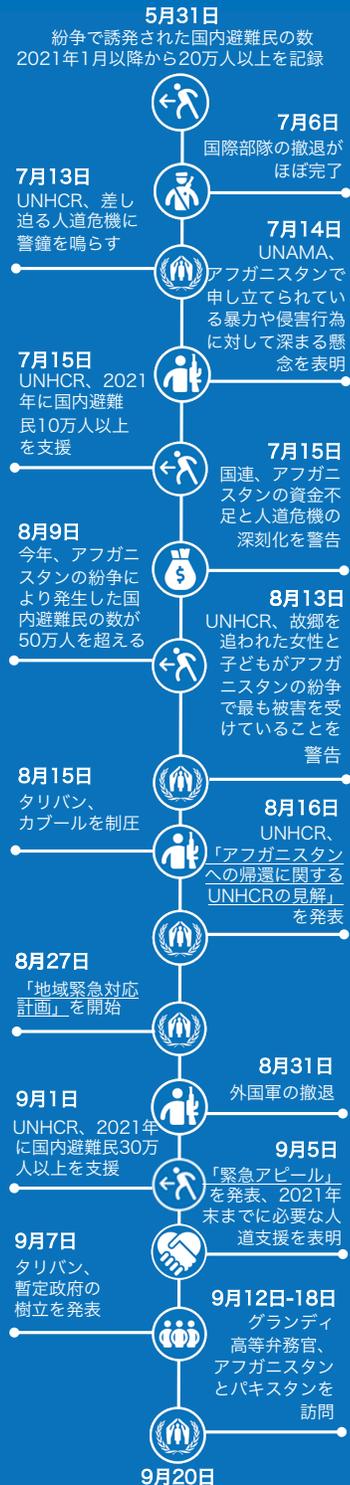
➔ **220万人**

2020年12月31日時点、
近隣国へ避難したアフガン難民・庇護
希望者の推定人数

➔ **3万5,400人**

2021年1月1日以降、
国際保護を必要とし、新たに近隣国へ逃
れたアフガン難民の推定人数²

アフガニスタン情勢の主な動き



概要

- フィリッポ・グランディ国連難民高等弁務官は、9月12日から15日のアフガニスタン視察を終え、国内のアフガン人に対する緊急かつ継続的な支援を国際社会に訴えた。カブール滞在中には、アフガニスタン暫定政府との会談に加え、現場にとどまり活動を続けている国連やNGOのスタッフと意見交換を行った。グランディ高等弁務官は、暫定政府が取り仕切る安全と人道的アクセスの確保に向けた取り組みを歓迎し、そのほかにも、女性スタッフが安全に仕事に戻ることができる環境の整備や、すべてのアフガン人に対する教育の重要性などの重要課題についても議論した。
- 今回の訪問中、グランディ高等弁務官は、迫り来る冬に備えてUNHCRとパートナー団体の取り組みをさらに強化していくことを踏まえ、パキスタンからカブールのUNHCR倉庫に物資を積んだトラックの車列の到着など、支援活動を視察した。アフガニスタン北部のマザリ・シャリフでは、帰還民を含むコミュニティの人々を支援し、生活の安定を目標とするUNHCRのプロジェクトの一つでもある、絨毯工房の落成式に出席した。
- アフガニスタン訪問後、グランディ高等弁務官はパキスタンに移動し、2日半にわたり政府高官や関係者との会談、およびアフガニスタンの情勢について意見交換を行った。何十年にもわたるパキスタン政府の人道支援への取り組みとアフガン難民の受け入れを歓迎すると同時に、パキスタンへの継続的な支援を呼び掛けた。現在アフガニスタン国外においては、難民の目立った移動は確認されていないが、グランディ高等弁務官は、今後保護を必要とし、または危険に瀕しているために国境を越える可能性のあるアフガン人の安全を保障する必要性を強調した。



アフガニスタン・カブール市内のUNHCRの倉庫で緊急支援物資を視察するフィリッポ・グランディ国連難民高等弁務官
© UNHCR/Ghulam Abbas Farzami

- OCHAの統計によると、2021年1月以降、アフガニスタンの紛争により新たに発生した国内避難民は約63万4,800人。国内避難民のうち、約10万人はここ数週間で出身地域に帰還した可能性があるが、詳しい数値は確認中。さらに、帰還民を含むすべてのコミュニティの安定とレジリエンス（生き抜くチカラ）を支援するUNHCRの開発プロジェクトが現在実施されている地域（PARRs）に約2万5,000人の国内避難民が帰還している。

- 2021年1月1日から2021年9月18日の間、UNHCRはアフガニスタン国内で避難民となった約34万人に支援を届けた。活動の一環として、約18万1,000人へ生活必需品、12万人へ衛生キット、2万人の女性・女兒へ生理用品、1万2,000人へ家族用テント、特定のニーズのある人（高齢者、危険に瀕する可能性のある子どもや女性、深刻な健康状態や障がいのある人など）へ現金給付（約4,000人）、約1,000人へ食料配給、そして300人以上へ緊急シェルターキットを支給した。
- 報告期間中、UNHCRのトラックはパキスタンからトルハムの国境を越えてアフガニスタンへさらに2,400張りのテントを運び、別便にてビニールシート7,300枚、毛布1万1,520枚、調理器具5,700セット、給水用ポリタンク10,000個も輸送した。最もニーズの高い人々に人道支援を届けるため、アフガニスタン全土で緊急支援物資の配布を継続している。UNHCRは2021年1月から、このような主要な援助物資を18万人以上に支給し、この1週間で6,500人以上に支援を届けた。
- アントニオ・グテーレス国連事務総長は2021年9月13日、アフガニスタンの人道状況に関する閣僚級会合を開催。グラエディ高等弁務官はカブールから参加した。同会合では6億620万米ドルの「緊急アピール」の始動が正式に発表され、新たな人道支援のニーズ（1億9300万米ドル）や、既存の「人道対応計画」下で満たされていないニーズ（4億1300万米ドル）の優先計画などが提示された。さらに、ドナーコミュニティの支援により新たに約12億米ドルの活動資金が募ったことも報告された。人道対応計画のもと、UNHCRは保護クラスターと緊急支援物資・シェルタークラスターを主導し、年末までにそれぞれ150万人と90万人に支援を届けることを目標としている。

地域情報

- 報告期間中、アフガニスタンと近隣国の国境を陸路で越えられる出国地点は、ビザやパスポートなどの有効な渡航書類を持っている限られた場合を除いて、ほとんど閉鎖されている。UNHCRは各国に対し、安全を求め避難する人々のために国境を開放しておくよう引き続き呼びかけるとともに、関係当局に対して、「アフガニスタンへの帰還に関するUNHCRの見解」に従い、アフガン人の強制帰還を禁止するよう再度注意を呼びかけた。
- 国境地域のUNHCRモニタリングスタッフは、パキスタンの国境検問所へ向かおうとするアフガン人の移動を継続的に確認しているが、有効な渡航書類がないため、出国できていないアフガン人もいる。パスポートや有効なビザ、カンダハール州の国民証明書（Tazkira）を持つアフガン人は、医療または安全上の理由でパキスタンへの入国が許可されている。現在、これらの動きは、アフガン人によるパキスタンの国境への移動において通常観測されるレベルを超えていない。
- UNHCRは引き続き、特にイランなどの近隣国へ非正規な陸路で国境地点を通過し、渡航書類を所持せず入国するアフガン人の増加に関する報告を受けている。このような避難民に関する情報やニーズを特定するために、可能な範囲で関係者への聞き取り調査による情報収集を強化している。
- UNHCRは今年に入ってから、国際的な保護を必要とする可能性のある、新たに近隣国へ到着したアフガン人を3万5,400人記録した。新規入国者には、タジキスタン（5,300人）とイラン（16,300人）でUNHCRやパートナー団体に接触した人、パキスタンで主に聞き取り調査のデータにより把握している人の数（10,800人）、さらに2021年1月1日以降、イラン当局が国境地点で受け入れたアフガン人（3,000人）のデータが含まれるが、その大半は帰還している。国際的な保護を必要とするアフガン人の全体数はさらに多いと見られるが、これらの統計は小規模な移動の記録を示すものである。
- パキスタンやイランに新たに到着し、UNHCRに接触するアフガン人の大半は渡航書類を所持しておらず、UNHCRの調査に応じた新規入国者の大多数は、安全上の懸念を理由にアフガニスタンを離れたと回答している。
- 関係当局の取り組みを支援する一環として、UNHCRは近隣国への新たな流入に備えるとともに、現在もアフガニスタンに滞在する国内避難民の緊急時のニーズへの対応を継続している。現在、UNHCRは以下の緊急支援物資を備蓄または調達している：

	アフガニスタン	イラン	パキスタン	タジキスタン
 ブランケット	61,400 / 20,700	9,600 / 40,000	51,000 / -	3,300 / -
 バケツ	8,800 / -		21,400 / -	700 / -
 家族用テント	9,200 / 12,000	6,400 / 1,500	9,000 / 2,000	600 / -
 給水用ポリタンク	15,800 / 55,400	4,200 / 16,000	15,200 / -	1,300 / -
 調理器具セット	10,200 / 13,900	1,800 / 8,000	5,900 / -	700 / -
 蚊帳		- / 19,800	29,700 / -	
 敷布団		12,000 / 40,100	34,500 / -	3,300 / -
 防水シート	28,800 / 46,400	5,000 / 8,000	9,400 / -	
 石鹼	208,900 / -		45,800 / -	13,000 / -
 生理用ナプキンの布	38,100 / 33,800	240,000 / -	70,500 / -	

